

個人の資産形成に おけるFWB

2025年6月11日(水)

LIFE MAP 合同会社 代表 竹川美奈子

金融リテラシーを身につける意味



◆将来の選択肢をふやすため

※ 選択肢を増やす＝自己決定度を高めることは幸福につながると言われています。

◆今に集中するため

◆不安スイッチを 押されても動じなくなるため

…不安になる最大の理由は「わからない」「知らない」

- 不安を感じる最大の理由は「わからない」「知らない」



- お金に関する必要な知識を身につけること
平均値・モデルケース→自分・我が家は？



- 家計の見える化・公的保障と企業内保障の見える化

家計の見える化：バランスシート(資産・負債)

2025年〇月〇日時点

時価評価額
を記入する

金融資産

- ・普通預金
- ・定期預金
- ・株式
- ・投資信託

負債(ローン残高)



年金資産も
加える

(企業型DC、iDeCo、
小規模企業共済など)

実物資産

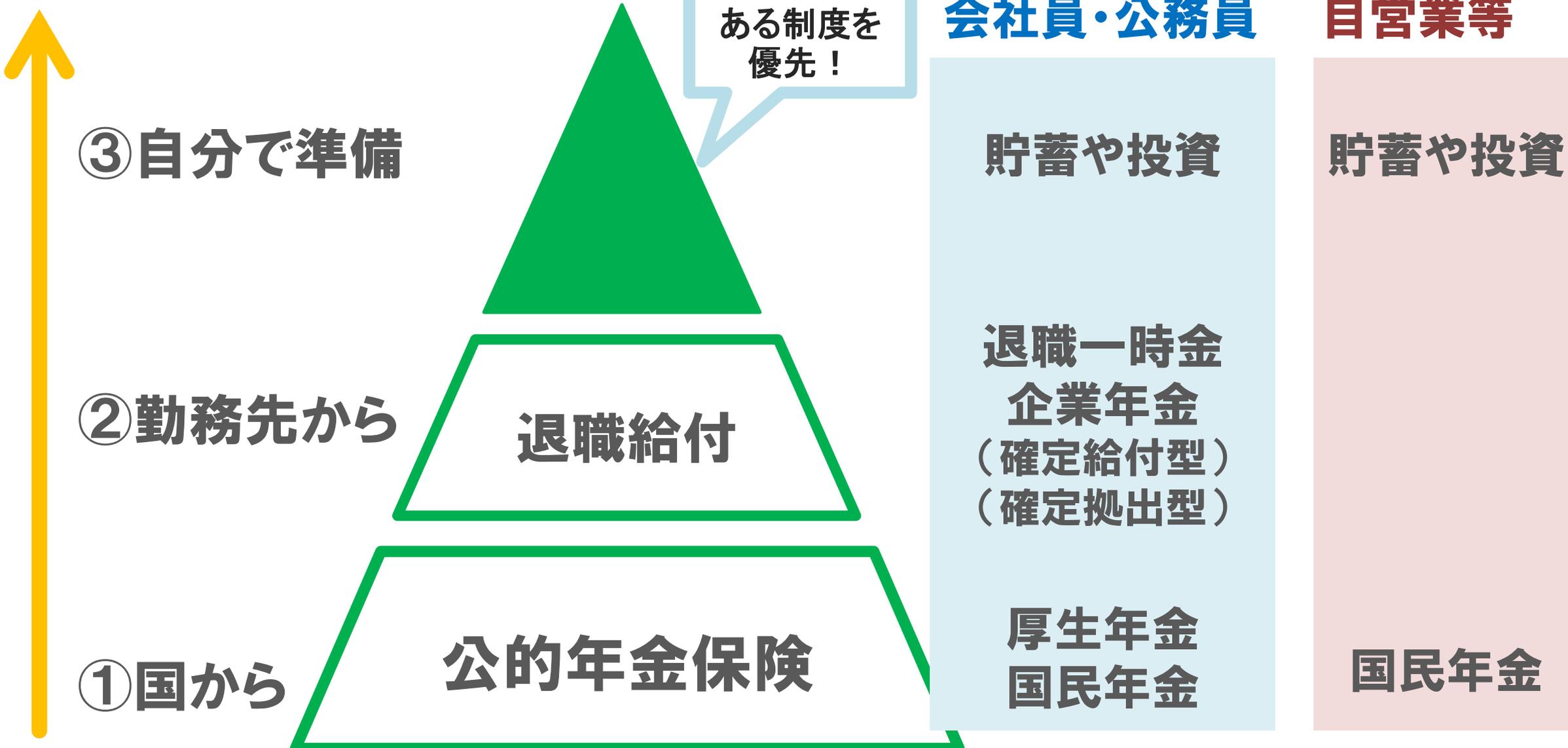
- ・不動産
(土地・建物、マンション)
- ・クルマ



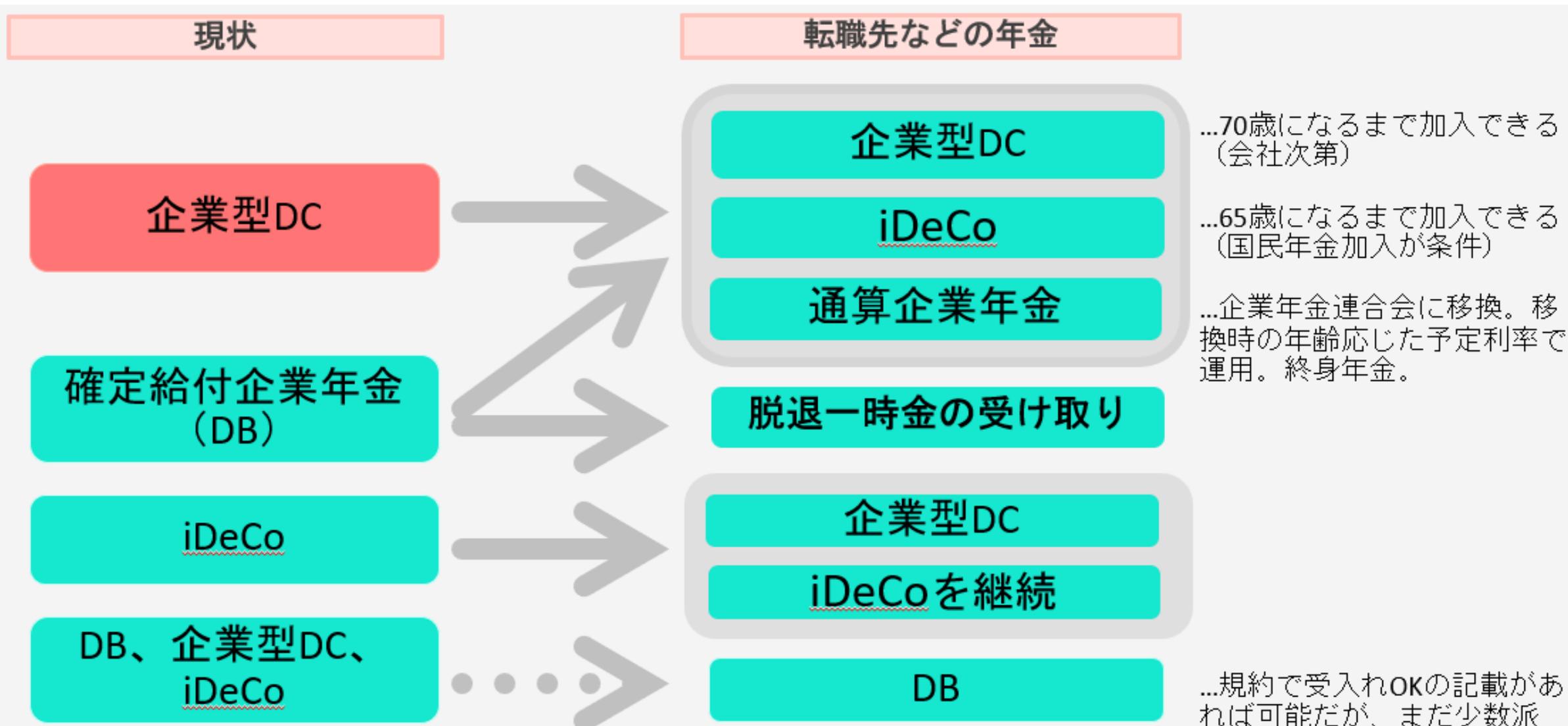
純資産



見える化②:資産形成の場合



私的年金：持ち運んで育てる



主体的に資産形成に取り組んでいる人たちの共通点(インタビューから)

1. 長期・分散・積み立て投資を継続
2. 自分なりの(投資の)軸を持つ
3. 最初の一歩を踏み出せる
4. 変化に柔軟に対応(結婚、転職、病気など)
5. 使える制度は賢く活用している(企業型DCやiDeCo、NISAなど)
6. オーナーシップを意識
7. お金の使い方が上手
(趣味など好きなこと、家族との体験など。今と将来に向けての満足度の配分)
8. B/Sの「資産」に金融資産以外のもの(知識、経験、趣味、健康、仲間、信用など)も積み上げている

Profile



自営業・元高校教諭、64歳

竹田さん

職業：自営業

家族：妻、長男、お嫁さん、孫（5歳、1歳）

趣味：テニス、スキー、シングルモルトウイスキー、
札幌街歩き、ドライブ、温泉、サウナなど

投資歴：38年

竹田：若者が憧れるような、格好いい大人がふえると、世の中が明るくなると思いますしね。自分も、格好いいお金の使い方を考えていきたいです。

資産運用とか長期投資って、金融資産をふやすというより、人生のお金の心配から自分を解放する意味合いも大いにあると感じています。せっかく生きているのに、お金の心配や長生きの心配をするのはもったいない。できれば若いうちからコツコツ積み立てて、お金の心配から早く解脱する。「金融資産の残高」をふやすより、「幸せな思い出の残高」をふやすことに人生の時間をたくさん使いたいですよね。

Profile



仮名・60代

こん吉さん

職業：無職（年金生活）

家族：妻、長女、次女

趣味：緊急防災グッズ収集など。数年前に大病を患ってからはブログの更新と定点観測と称した散歩兼店舗巡り

投資歴：32年

奥さまからもひと言

子ども食堂を始めたのは8年前です。私は田舎育ちで、近所中が家族みたいな環境で育ちました。（広島市でも）子供たちが行く場所がなかったら「ちょっとあそこに行ってみたいな」という場が作れたらいいな、とずっと思っていました。そんな時、TVでこども食堂のことを取りあげていて、これならできるかもしれないと思って始めたのがきっかけです。子どもに限らず、自由にいろんな人が交流できて、気楽に立ち寄れるサードプレイス（third place）になれば、と思っています。

場所を借りると賃料も発生しますし、ローンを組んで物件を購入して行うのは難しかったです。そういう意味では、（夫のこん吉さんが）古家の改修費をすんなり出してくれて、ここで、こども食堂をはじめられたのは資産形成をしてきたお陰でしょうね。

いい洋服や豪華な旅行もいいけれど、そこにお金をかけて得られる喜びと、こども食堂の運営を比較したら、私たちは後者のほうが楽しいな、と思っただけ。それぞれが価値観に合ったお金の使い方ができるとよいですね。

主体的に生きる: キャリアだけでなく、お金についても自分でマネジメントする 人生を通して「資産設計」を行う

